

教育目標

建学の精神である「^{い あ い い えん}以愛為園」を基調として、学生一人一人が保育士や幼稚園教諭、介護福祉士として必要な専門的知識や技能を身につけるとともに、教養の向上を図り、広く社会に貢献できる人材を育成する。

〔保育科〕

1 保育者としてのコミュニケーション能力を身につける

子ども、保護者、同僚、地域住民などの身近な人々と、目的や状況に応じたコミュニケーションをとることができる。そのために必要な傾聴、会話、説明、文章表現のスキルを身につける。

中 項 目	傾聴する 姿勢	3	相手が話しやすい環境を整えて関心を寄せて耳を傾けることができる。
		2	相手が話すペースやタイミングに合わせて聞き入ることができる。
		1	相手の話を聞く時に、目線を合わせて相手と向き合う姿勢をとることができる。
	受容・共感 する態度	3	相手の感情・思考・行動を理解し、言葉や態度で共感を示すことができる。
		2	相手の立場に立って、思いや行動の意味を考えることができる。
		1	相手の気持ちや思いを、ありのままに受け止めることができる。
	表現力	3	実習報告会やグループ活動報告において、自分の思いや考えを分かり易く相手に理解しやすい表現で正確に伝えることができる。
		2	レポートやプレゼンテーションの構成が形式に沿って組み立てられており、自分の主張を相手に正確に伝えることができる。
		1	自分の思いや考えを自分の言葉で整理することができる。
	調整力	3	他者と自分の主張の違いを認めた上で、合意形成に向けて意見調整ができる。
		2	他者の発言や文章の内容を理解した上で、自分なりの疑問や主張を持つことができる。
		1	他者の発言や文章の内容を理解することができる。

2 子どもの発達過程を理解し、発達に応じた関わり方を身につける

子ども一人一人の心身の発達や状況について理論的な理解ができ、発達段階や状態に対応した関わり方ができる力を身につける。

中 項 目	発達過程 の理解	3	一人一人の子どもの発達過程を把握することで、子どもに安心感や安定感を与えることができ、見通しを持った援助の仕方をするすることができる。
		2	子どもの発達は、様々な環境との相互作用により発達することを理解し、大人と子どもとの信頼関係を大切にすることができる。
		1	子どもの発達の特性や発達の順序性を理解し、一人一人の子どもの心身の状態を把握することができる。
	発達に応 じた関わり	3	保育者として子ども一人一人の発達の特性を十分理解し、見通しを持った関わりをすることができる。
		2	一人一人の発達過程を大切にし、子ども自身の力を十分認めることができ、心身の状態に応じた適切な環境構成や援助をすることができる。
		1	子どもが自ら発達していくことを認めその姿に寄り添いながら、発達の順序性や連続性を踏まえ、子どもが楽しんでいることを共に喜ぶことができる。

3 保育者としての表現力を身につける

ピアノの弾き歌いをする、音楽に合わせて身体を動かす、絵本を読み聞かせる、絵画を制作するなど、保育の場面の表現力を身につけ実践できる。

中 項 目	ピアノの 弾き歌い	3	子どもと一緒に楽しみながら、余裕を持ってピアノを演奏することができ、歌も上手く歌うことができる。
		2	子どもの歌をピアノで弾きながら、歌も歌うことができる。
		1	子どもの歌をピアノで弾くことができる。
	音楽表現 力	3	基礎的な音楽知識を培った上で、保育現場で即戦力となりうる音楽表現ができる。
		2	基礎的な音楽知識をある程度理解した上で身振りや動作、声や表情などを通して表現できる。
		1	基礎的な音楽知識を理解しようとした上で、音楽に合わせて身体を動かすことができる。
中 項 目	絵本の 読み聞か せ	3	絵本の登場人物に感情を入れて演じながら読むことができ、間の取り方、タイミングに応じてページをめくりながら読むことができる。
		2	子どもの興味や発達過程に応じた絵本を選ぶことができ、言葉は、はっきりした口調で、抑揚をつけながら読むことができる。
		1	日頃から、言葉への感覚を豊かに持つことができ、子どもが面白い、楽しいと感じていることに気づく感受性を豊かに持つことができる。
	造形活動	3	実習で実践する際には子どもが描いたりつくったりしたものを丁寧に扱うことができ、飾り方や提示の仕方に工夫を加え、魅力的な室内環境にすることができる。
		2	子どもが様々な素材や用具を利用して描いたり、つくったりすることができるような環境を整えることができ、様々な素材の使い方を適切に援助したり、ヒントを与えたりすることができる。
		1	子ども一人一人の表現を受け止めることができ、面白さや、発想の豊かさに関心することができる。

4 保育者としての規範意識を身につける

社会の規範を遵守し、同僚、保護者や地域住民から信頼されるような態度・表情・礼儀・常識を踏まえ子どものモデリングの対象となる行動をとることができる。

中 項 目	規範遵守	3	社会の一員として、自ら模範となり、規範遵守について他の人の協力を得るような行動をとることができる。
		2	<ul style="list-style-type: none"> • きまりを無視したり、約束を破ったりすることに抵抗感を示し、不正のない行動を心がけることができる。 • プライバシーを保護するため、保育を通して、知り得た個人の情報や秘密を守ることができる
		1	学校内のルールや社会のマナーを守ることができる。また、自分がした間違いや失敗に気づくことができる。
	モデリング の行動	3	あらゆる場面において、最大の理解者になることができるように、実習をする際には子どもの心に寄り添った行動をとることができる。
		2	<ul style="list-style-type: none"> • すべての子どもが自信を持てるように肯定的な言葉で話し、愛情あるまなざしで接することができる。 • 笑顔で挨拶をすることができる。
		1	<ul style="list-style-type: none"> • 分かりやすい温かい言葉づかいで話しをすることができる。 • 相手の気持ちを十分受け止めることができ、安心して話せる環境をつくることができる。

5 子どもの疾病や事故への対応力を身につける

子どもの成長や安全を第一に考えつつ、事故や疾病に対する適切な処置が行えるための知識を有し、適宜対応ができる。

中 項 目	疾病への 対応	3	発熱、おう吐、下痢などの疾病の内容を把握し、他者にも説明することができる。
		2	日常における心身の状態を十分に観察し、その変化に気づくことができる。
		1	伝染性の病気、予防接種などの内容や、アレルギー児について理解することができる。
	事故への 対応	3	危険を見抜く目を養い、子どもにとって危険なことを予測し、対応することができる。
		2	月齢や年齢による危険性を予測することができる。
		1	子どもの発達や動線を考え、戸外や室内の安全な環境を整えることができる。